

## 第7回アフリカ開発会議（TICAD7）公式サイドイベント 「アフリカの人口高齢化を見据えて」

### Towards Population Ageing in Africa

アフリカの人口高齢化を見据えて



A side event at TICAD7

2019年8月29日  
Thu/13:00-14:30  
Yokohama, Japan

JP | EN | FR

8月に開催される第7回アフリカ開発会議(TICAD7)に際し、日本国際交流センター(JCIE)では、「アジア健康構想」(Asia Health and Welbeing Initiative: AHWIN)の事業の一環として、TICAD7公式サイドイベント『アフリカの人口高齢化を見据えて-高齢者ケアの「今」と、大陸を越えて共有すべきケアのあり方-』を開催いたします。

アフリカでは、いまだ高齢者の割合は低いものの、総人口の増大に並行して高齢者数の増加はアジア・ラテンアメリカと同様に大きいことが見込まれており、医療・介護を含めた対応が他地域同様喫緊の課題となっています。今後のアフリカの開発は人口増加とともに、人口高齢化を見据えて取り組む上では、アフリカ諸国の人口高齢化の状況と将来予測、と高齢者関連の政策を概観するとともに、アフリカ地域社会に内在する高齢者に対する社会規範や価値を考察する必要があります。

本サイドイベントでは、アワ・マリ・コルセック元セネガル保健大臣をはじめアフリカとアジアの専門家を招き、日本や他のアジア諸国が試行錯誤している高齢化対策の経験を共有しながら、アフリカの人口高齢化の課題と展望を議論します。ぜひ奮ってご参加ください！

# Towards Population Ageing in Africa -Current approach to elderly care, and lessons to be shared across continents-

## アフリカの人口高齢化を見据えて 一高齢者ケアの「今」と、大陸を越えて共有すべきケアのあり方一

### Vers la vieillissement de la population en Afrique

日時 2019年8月29日（木） 13:00～14:30

会場 パシフィコ横浜 展示ホールB08

神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1 [アクセスは右のQRコードから]



共催 「東アフリカにおける未来の人口高齢化を見据えた福祉とケア空間の学際的探究」科学研究費助成事業プロジェクトチーム、東アジア・ASEAN経済研究センター、公益財団法人 日本国際交流センター、長崎大学

後援 国立社会保障・人口問題研究所

言語 英語（日本語・仏語同時通訳あり）

参加費 無料

定員 200名

申込 事前登録は右のQRコードからお願いします。



※本イベントは原則事前登録制ですが、登録なく当日参加される方のお席も若干ご用意致します。

※TICAD7は招待制の国際会議ですが、本サイドイベントは一般公開いたしますので、TICAD7の招待者でなくても、ご参加いただけます。

## プログラム（7月22日現在）

◆開会挨拶： 大河原 昭夫 （公財）日本国際交流センター理事長

◆講演： アフ・マリ・コルセック セネガルCN-ITIE理事長、元セネガル保健大臣

ブラフラ・ミシュラ ヘルプエイジ・インターナショナル、アフリカ地域ディレクター

マリキ インドネシア国家開発企画庁（BAPPENAS）、人口計画・社会保障局局长

増田 研 長崎大学 多文化社会学部 多文化社会学科・

長崎大学大学院 熱帯医学・グローバルヘルス研究科 准教授

◆パネルディスカッション：

モデレーター：林 玲子 国立社会保障・人口問題研究所 国際関係部長

◆閉会挨拶： 駒澤 大佐 東アジア・ASEAN経済研究センター 総長参与